

令和5年12月 高原町教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 令和5年12月20日(水) 9時30分～10時34分
- 2 場 所 高原町中央公民館 2階第1会議室
- 3 議事日程 第1 議事録署名委員の指名
第2 教育長報告
第3 議 事
報告第24号 令和5年第9回高原町議会定例会について
第4 その他
- 3 出席委員 教育長 西田 次 良
教育委員 有 水 りえ子 福 丸 幸 治
後 藤 良 文 温 谷 一 浩
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 教育総務課
課 長 中別府 和 也 対 策 監 武 田 透
課長補佐 寺 師 淳一郎 指 導 主 事 柏 木 友 和
学校教育係長 山 下 浩 樹 文 化 財 係 長 大 學 康 宏

6 会議内容

◎開 会 9時30分

西田教育長 【1 開会】
開会を宣告する。

西田教育長 【2 日程第1 議事録署名委員の指名】
議事録の署名人に、西田教育長と後藤委員を指名する。

西田教育長 【3 日程第2 教育長報告】
今週から急に寒くなってまいりまして、平均気温は若干例年より温かいらしいのですが、日々の平均気温と一日の寒暖差も非常に大きいということで、皆様方体調には十分気を付けていただけたらと思っております。

学校の方は、明後日22日で2学期前半を終了いたします。インフルエンザがピークを過ぎたと思っておりましたが、振り返ると、広原小が11月中旬から始まって、後川内小中学校以外の4校は全て学級閉鎖がありました。最後は12月の初旬だったんですが、高原小の6年生が今日と明日学級閉鎖ということで、ギリギリ終業日には学校に来られ

るのかなと思っておりますが、そういう状況であります。

学校教育の方ですが、12月1日に広原小学校の計画訪問が終わりまして、今年度の計画訪問は全て終了ということで教育委員さん方にも出席をいただいたところであります。今年度の計画訪問が他に狭野小学校と高原中学校、一貫教育研究授業が高原小学校と後川内中学校、重点支援校訪問ということで後川内小学校でした。うまく6校が毎年どこかの会があるように調整をしておいたのが令和2年でありました。統合までの6年間でうまく輪番が一回りするようになってということで考えて進めているところであります。ちょうど令和7年度にサイクルで一回りすることになっております。それから教育研究所の授業研究会がこの報告事項の中に何回か出てまいりますが、12月12日に第4回の研究会がありまして、研究事業をそれぞれ研究員が行っております。今年度研究員を8名に増員しまして、その中の7名が授業を行いました。第4回で4人の授業が終わって、残り3人が一貫授業研の中で授業をしております。これも計画的に進んでおりまして、ICTの研究が進んでいるところであります。今年度は町内共通テーマで「一人一人に寄り添う、わかる・できる授業づくり」ということで取り組みICTを効果的に利用した授業づくりに取り組んでまいったところであります。それぞれの学校で更に校内のテーマを副題でもって今年度研究を進めてまいっております。一貫教育を令和2年度から再スタートした計画が今年度に終わりまして、来年度、再来年度は小中一貫教育に向かったのレベルアップの移行期間と捉えて進めてまいりたいと考えているところであり、キーワードが「繋がる」ということであります。

次に社会教育の方であります。11月28日に高原町SWC健幸グラウンドゴルフ大会を実施しておりますが、年度内に4回実施を計画しております。3回目の大会になりました。110名が参加されて大変盛り上がったところであります。それから12月17日ですが、第2回日本発祥の地たかはる健幸駅伝競走大会ということで、23チームの予定でしたが22チームが参加していただいたの大会となりました。県庁から5チーム参加していただいて大変盛り上げていただいたところです。7区間9.2kmのコースで実施されました。それから報告事項の中で市町村対抗駅伝練習会が何回かありますが、12月までに5回の練習会を実施しております。練習会には小学生が参加しておりますが、年明けの8日の本大会に向けて、今、一生懸命調整をしているところであります。本大会は12区間、39.2kmでタスキを繋ぐということで、23日に選考会を行って臨むことになっております。

私からは以上です。

(補足説明)

中別府課長 私からは連絡事項になります。12月26日に小中一貫教育校準備委員会を開催することとなっております。記載漏れですが、明けて1月4

日に賀詞交歓会がございまして、案内をしておりますので出欠につきましてお伺いしたいと思います。次に5日の金曜日ですが、はたちの集いが神武ホールで開催されますので、都合がつかれば御出席の方をお願いしたいと思います。また、1月19日に町PTAの新春懇親会がございまして出欠につきましてお伺いしたいと思います。

私からは以上でございます。

～ 質 疑 ～

温谷委員

L-Gateオンライン研修の内容を教えてください。

～ 回 答 ～

柏木指導主
事

エルゲイトと読みます。ズームによるオンライン研修を視聴いたしました。内容としましては、今、不登校が全国的に問題になっているんですけども、心の健康観察というような形での利用ができないかと、具体的に申しますと子どもたちが朝登校してきて、タブレットを開いて「笑顔・悲しい顔等」のボタンを押すことによって集計されていくような、子どもたちの心の変化に敏感に反応できるようにということで、会社からこんなのを考えているんですけどいかがですかということで視聴をさせてもらったところでした。ただ、本町が取り入れるには、もう少し検討が必要かなというふうに思っているところです。

～ 補 足 ～

武田対策監

L-Gateは文部化科学省が推奨しているもので、普通いろいろアプリを使うときに、ログインパスワードやIDを入力するんですが、L-Gateを通せば全て共通のIDパスワードで入ることができて、非常に便利なツールというふうに思っていただければいいのかと思います。

～ 質 疑 ～

温谷委員

全国的にはそれを入れている学校とかあるのですか。

～ 回 答 ～

武田対策監

L-Gateは文部科学省が扱っているもので、他の全市町村には周知はされておりまして。ただ、使う・使わないは市町村毎に差があるとは聞いております。

～ 質 疑 ～

後藤委員

昨日、高原町せっかくウォーク第2回実行委員会があったと載っていますけれどもどういった内容なのか、それと小林市で絶景ウォーク運営委員会で、7日と来月の11日にあります運営委員会と内容が関連があるのかお聞きしたいです。

～ 回 答 ～

寺師補佐 せっかくウォークですが、2月23日に高原町の観光を含めて史跡を巡るウォーキングがあり、24・25日で小林市で絶景ウォークがありますが、せっかく来ていただいたので高原町の狭野神社周辺や湯之元温泉の方も回っていただくということで、昨日は、どういったおもてなし等をするかについて話し合いをしたところであります。スポーツ協会や推進委員の方々に入らせていただいております。先ほど言われました、ツーデーマーチ絶景ウォークに併せて小林市と高原町が連携してやっていく事業であります。

～ 質 疑 ～

後藤委員 広報とかチラシなど町民の方への広報はどうなっているのですか。

～ 回 答 ～

寺師補佐 広報は既にしてしておりますが、1月31日までが締切ということで申し込みを受け付けており、ホームページ等にも掲載しております。

～ 回 答 ～

武田対策監 ひとつ言い忘れたことがありましたので、L-Gateのことについてなんですけど、L-Gateに入ってどんなアプリがあるかということについて説明が抜けていました。全国学力調査の問題とか国語とか数学とかそういうドリル関係の問題とか、先ほど柏木の方で話しました健康観察等が入っているということで、文部化科学省が承認しているアプリケーションばかりです。以上です。

～ 補 足 ～

西田教育長 以前、MEXCBT (メクビット) というのが出てきたと思いますが、メクビットを使うための入り口でL-Gateを使っていることで御理解してください。

～ 質 疑 ～

温谷委員 どの会社で作っているのですか。

～ 回 答 ～

武田対策監 いろんな会社が作っています。

～ 質 疑 ～

温谷委員 はたちの集いの予定人数を男女それぞれ教えてください。

～ 回 答 ～

寺師補佐 昨日、実行員会を開催しまして実行委員の方にも声掛けをさせていただいたり、こちらも把握できていない方にも連絡をしたりしております。人数につきましては確認して連絡をします。

【4 日程第3 議事】

西田教育長

《報告第24号 令和5年第9回高原町議会定例会について》

西田教育長

(資料に基づき説明)

中別府課長

～ 質 疑 ～

温谷委員

一般質問の答弁書の1ページで改修にあたっては必要最小限の改修を行っていくという表現は、必要最大限ではないのですか。

～ 回 答 ～

中別府課長

子どもたちのより良い学習環境のために最大限の改修をしたいと考えております。最小限という意味合いは金額的になるべく抑えるということで御理解いただきたいと思っております。

～ 質 疑 ～

温谷委員

教育委員会の方からの改修に当たっての予算はだいたいいくらくらいをみてるんですか。

～ 回 答 ～

中別府課長

改修費用につきましては、設計業務委託の入札が26日の予定であります。それ以降設計業務を進める中で、改修費用が算出される予定でありますので、改修内容等につきましても、皆様方から御意見を伺いたいと考えております。

～ 質 疑 ～

有水委員

学校の統廃合に伴いまして、統廃合後になると思うんですけど、学校給食調理場も改修とかなければいけない状況になってくるのかなと思うんですけど、まだ今の段階ではまだですけど、そのうちそちらの方も予算を付けていって、調理場が1箇所になるという方向性を持っていって、必要な資材の買い直しとかそういうのを見直していく予定がありますか。

～ 回 答 ～

中別府課長

現在の高原小学校の給食棟につきましては、全部が一緒になっても対応できることにはなっております。現在、年次的なんですけど、老朽化も多い部分もございまして、随時必要な部分は改修等を行っているところであります。また、食器等の備品につきましても、だいぶ古いという御指摘もありましたので、なるべく新しいもの買い替えたりしております。そういったことから、備品等につきましても使用年数等を考慮しながら計画的に更新できるようにしていきたいと考えております。

～ 質 疑 ～

温谷委員 給食の関係なんですけれども、一般質問の〇〇議員が全額の給食費補助はどうかと質問されて、町長は半額補助を継続するというのですが、財源がふるさと振興基金とあるんですけれども、以前からの半額補助はこの基金から全部出ているんですか。

～ 回 答 ～

中別府課長 半額補助分の全額がふるさと振興基金ではなかったと思いますが、基金が充当されています。基金も、町内の様々な事業がございますので、バランスよくそれぞれ活用できるように財政の方で調整を行っているところであります。

～ 質 疑 ～

温谷委員 一般質問では、基金残額から全額補助が可能だと思いますとありますから、基金がたくさんあって充当出来るような感じですが、そうじゃないんですか。

～ 回 答 ～

中別府課長 今、お答えしましたように基金の用途につきましては、それぞれの事業でやっていきたいということですので、給食だけを全額というのはなかなか厳しいところがあるということで御理解をいただきたいと思えます。

～ 意 見 ～

有水委員 給食費のことで全額負担してほしいと保護者側からすれば、少しでも助けてほしいと思うんですけど、今般の原材料の値上がりで栄養の先生とか献立をたてるにあたって、原材料がかなり高騰しててやりくりが大変だという話を聞いているんですが、そういう中で、保護者の方にももうちょっと負担してもらわないと子どもたちの給食の質が下がりがねないということも伝えてもらった良かったのかなというふうに思っています。確かに将来を担う子どもたちを育てるためには、子どもたちを支援するべきかもしれないですけど、やはり痛みを分け合う形で、より良い給食を食べさせるためには、ある程度保護者の負担もお願いしますという言い方をしてもらったら、この議員さんも議会では良かったのかなと思いましたので、そういうやり方はないのかなというふうに思いましたということを述べさせてもらいました。

～ 質 疑 ～

温谷委員 令和5年度に給食費の値上げをしたんですか。

～ 回 答 ～

中別府課長 令和5年度から、1食あたり30円ほど値上げをいたしております。今、有水委員からありましたように、栄養教諭からそういった値上がりで、非常に厳しいという意見も伺っているところであります、次

年度に給食費の値上げをするのかというようなことも教育委員会内では検討しているところなんです、続けて値上げということもなかなか保護者の理解も得られないかなというところもございまして、教育委員会内での検討事項となっているところであります。

～ 質 疑 ～

温谷委員 値上げ分を町が手当するわけにはいかないのですか。

～ 回 答 ～

中別府課長 これまでは、コロナ交付金がございまして高騰分につきましては充当をしてきたところなんです、その交付金もありませんので、町単独でその分を出すというのは財政とも協議をしていかなければいけないかなと考えるところであります。

【5 その他】

西田教育長

(事務局からは「特になし」)

中別府課長

全体を通して委員の皆様から、何かありますか。

西田教育長

【補足説明】

寺師補佐

先ほど温谷委員から質問のありました、はたちの集いについてですが、はたちの集いの対象者は町内に一度でも住所を有していた方です。現時点では59名の参加申し込みを受けております。

【質疑】

温谷委員

対象者は何人ですか。

【回答】

寺師補佐

資料がありませんので、分かったら後ほど回答いたします。

【質疑】

福丸委員

若干聞きたいことがありますのでその他ということで時間をいただきました。ある大学の教授の話の中に、コロナ禍が進んで、3～4年と行ったところで、大学1年生が入学されてからの対面での授業がなかなか難しいと行ったところで、大学の講師が授業をする中で対面でも挨拶すらしない、これはどういうふうに考えますかと小学校・中学校・高校と教育を受けてきた関係の中で、コロナ禍で大学がだいぶ様変わりしたと行ったところの大学の先生がおっしゃられていました。文部科学省としては、対面で授業をなささいと行ったところなかなか難しいと行ったところもあるということで、最近ツイッターとか動画とかオンラインで授業をされるそうです。てなると子どもたち学生さん

がすごく生き生きして、すごく学校の中で対面で授業をする子どもたちなのかな生徒なのかな学生なのかなといったほどいろいろ返ってくると。おはようございます先生、今日もお疲れさまでした、そういったところの余計なんでしょうが、ハートを付けたりがあるということで、やっぱり大事なのかなそういったICTとかしながらさきほど対策監からお話があったように、何かあって学校に行けなかった子どもたちに利用するといったところの問題とか、タブレット使いながらそういった子どもたちの気持ちとか授業のスタイルとかちょっとずつ変わっているのかなといったところも伺えたところもあります。

そういったところから以前からお話をしていますが、皆さんお分かりだと思えますけど、学校の働き方改革がなかなか進んでいないといったところの話も聞きます。この前広原小学校でどういった取り組みをされていますかとお聞きしたんですが、少しずつは進めているといった話はあるんですが、そういった回答から進んでいないというの伺えます。ある学校では、夜通ってみると8時・9時とか電気が学校に付いているんですね。てなるとやっぱり「ああまだ帰れないのかな」といったところもすごく体を心配するんですね。なんで先生そんなに居るんですかと聞いたら、大半の先生はこう答えるらしいです。子どものためにと言うらしいんです。子どものためにやっぱり、ちょっとでも楽しい授業をしたいとかお話しされるそうです。そういったところから、ちょっとお聞きしたいんですが、文科省としても持続可能な学校のためということ、今年4月28日なんです職員勤務の実態調査の速報値を公表したということでした。高原の教職員の11月の時間外はどれくらいあったのか最初にお聞きしたいと思います。

【回答】

武田対策監 11月の平均ということで、小学校が26時間です。中学校が38時間でございます。

【質疑】

福丸委員 ありがとうございます。調査では、1日平均が小学校が10時間45分、中学校が11時間01分ということで、やっぱりそんだけ先生が学校にいらっしゃるわけなんですね、そういったことから一般の企業からするとどうなのかなといったところもあたりします。やはり学校の実情というか子どもたちにといいことであらうんですけど、先ほども言ったように先生たちの体が心配ですということでお伝えしたくてお願いしておきます。

あと、わかる授業とか楽しい学校づくりで工夫されていることはありますかというのを伺います。

【回答】

武田対策監 学校を通しての楽しい授業、子どもたちが分かる・出来る授業を目指して、ICTの活用を中心に今、実践の方を積み重ねているところであ

ります。今までどちらかという、全国学調とか数字の方をよく重視していた部分もありました。でもやっぱりそれじゃいけないとやはり子どもたちの授業が楽しいとか、分かるかというような反応を大切にしないといけないということで、授業に対する考え方が変わってきたなというところが現実であります。以上です。

【質疑】

福丸委員

ありがとうございます。やっぱり授業の準備の時間を確保するのがひとつの工夫かなと思います。ある先生の家庭が持ち帰っての仕事が一向に減らずやはり寝落ちして朝を迎えます。子どもたちのためにと
思って授業の準備をしていますが、体力の限界を感じていますということ
であります。そういう時間とか町内においては、時間外が少ない
とはいえ、小学校で26時間、中学校で38時間といったところの数字と
いったところの話がありました。これはやはり自発的な勤務じゃなく
てやっぱり学校の続きなのかな仕事じゃないのかなと思ったところ
も感想としてあります。やっぱりそういったことで子どもたちのため
とはいえ、極力先生たちにも家に帰れば子どもさんとか奥さんとかい
らっしゃるので、少しでも学校で出来る限りやっていただくといった
時間を見つけて休憩とかも必要じゃないかなと思ったところもありま
す。あと、給特法というのを教えてもらいたいのですが。

【回答】

武田対策監

給特法ということで、正式名称は「公立の義務教育諸学校等の教育
職員の給与等に関する特別措置法」ですが、簡単に言いますと勤務時
間外一般的に残業と言いますが残業とは別に払う考え方と、残業代は
ある一定の額を支払うからそれで残業代とみなすという考え方がある
んですが、給特法の方は後者の部分である一定の額をもらうので残業
をしてもらうというような考え方です。それは1968年に文部科
学省が調査を行って、だいたい全国の先生たちの時間外勤務が8時間
程度であるというような調査結果をもとに、基本給の4パーセントと
いうような額を出しているというところで、それが教職員調整額とい
う名前で残業代が出ているということで理解していただけるかなとい
うふうに思います。以上です。

【質疑】

福丸委員

ありがとうございます。そういった法律的なものもあってなかなか
先生たちの声も届かないのかなとは思ったところもあります。やはり
仕事をしてても時間外になると勤務とみなされますよといったところ
ですね、やはり時間外の勤務手当もありませんよといったところの切
実な願いといったところの何かを抜本的な見直しとかです。廃止とい
ったところの本も出ているそうです。まあそういったところからより
良い環境づくりといったところを進めていきたいなと進めていって
もらいたいなと思っています。やはり少しでも先生たちが学校で充実し

て給料、休暇、休憩とか取れるように町としても教職員の拡充とスクールカウンセラーとかの専門職の配置とか必要だと思います。今、いらっしゃることはいらっしゃるんですけど、それ以上にやっぱり一人でも多くまた二人とか確保していただけるようお願いをしておきます。

あとひとつ学校のリスクを見える化するといったところの話もあります。やはりリスクがたくさんあるんですね。数えきれないほどあるらしいです。学校だけではなくて、やはり感染症とかいじめとか交通事故とかですね、学校から門を出て先生さよならと帰ったところから家庭に入るまで、本当は校門までなんでしょうけどやっぱり帰るところまで先生たちが子どもたちの安全とかを見守る、また、家に帰っても何か地域でそういったところの事故とかあったときに、やっぱり学校に連絡があるということで、学校に連絡があっても対応しなければいけない、またそういったところも時間を使ってしまうといったところもあるらしいんです。そういったことから学校での取組みが何かあれば教えてほしいなと思ってお聞きします。

【回答】

武田対策監

各学校での緊急時に対してのリスク対応についての取組みというところで最近は警察との連携の中では、県警と教育委員会が話を申し合わせて、土日の警察等の問題が起こった場合は、今まではすぐ学校に連絡があったんですが、基本学校には連絡しない、ただし緊急性や重大な内容によっては連絡する場合もあるということでございます。あと家庭とのやり取りの中で、問題等が発生するということもありますので、こちらの方も町教委で雇用しているスクールソーシャルワーカー一等を活用して出来るだけそういう問題が最小限に食い止められるような取組みをしているところでございます。以上です。

【意見】

福丸委員

はい、ありがとうございます。この前、学校の先生の話も聞いたところで、いくつかのリスクが見えるのでそういったところの本当は話したくはないと思うんですが、改善は必要ではないかといったところで、例えば修学旅行とか学習で泊まりに行く際の先生たちって朝からずっと子どもたちが寝るまで24時間観ないといけないということで、先生眠れませんかと言ってくれば寝なさいとは言わずに、じゃ添い寝してあげるわとか色々対策とかしてくださるということで、先生たちはどこで休むのとなると、先生たちが学校で働きながらやっていくには学校の存続とかが危ぶまれるとの話も聞きましたので、高原町の実情というのをお聞きしたくて質問をさせていただきました。ありがとうございます。

次回定例会は、

西田教育長

令和6年1月24日(水) 午前9時30分～

閉会を宣告する。

西田教育長

◎閉 会

10時34分

議事録署名委員

西田次良

後藤良文